

1「ガイドブック」の特徴と使い方

(1) 特徴

- 医療的ケア児の在宅移行支援を行う際に、必要なサービスを導入できるよう支援の標準化を図る。
- 入院から退院までの一連の流れをわかりやすく可視化。
- 各時期に院内外の連携すべき人と役割を明確化。
- スクリーニング、アセスメント等で、医療的ケアを必要とする子ども・家族への早期支援介入により、子どもと家族の意向を取り入れた退院支援を行うことを可能とした。
- チェックリストにより、必要な支援が適切な時期に漏れることなく行われるよう工夫。
- 退院後の連携が途切れないように、ケースごとの連絡票を作成。

(2) 使い方

① 医療的ケア児退院指導導入の流れ

病院から在宅移行までの全体の流れをフローチャートで表したものです。フローチャートにそって、それぞれの様式をご使用ください。

② NICU／小児科 退院支援要否スクリーニング表【様式1】

NICU 又は小児科に入院から 7 日以内に初期スクリーニングでご使用ください。再スクリーニングについては、新たな問題が発生した時やコット移床時、また病状や使用している医療機器が変化したとき等に実施してください。院内カンファレンス等で共有し、退院調整の要否、MSW 介入の要否、訪問診療・訪問看護導入要否の判断を行ってください。（医療的ケアが必要な場合は、原則、訪問診療、訪問看護導入の方向とする）

③ 医療的ケア児在宅移行支援の手引き（チェックリスト）【様式2】

支援時期ごとに関係者がチェックリストにそって漏れないように確認、支援した内容にチェックを行ってください。チェックリストの医療機関（院内）に記載の関係職種がない場合は、代わりにチェックリストの項目を実施する職種を（ ）に記入してください。確認したこと、支援内容はカルテ等に記入し、院内関係者で共有してください。支援時期ごとに青字で記入のある様式を使用。

④ 訪問診療・看護導入のフローチャート【様式3】

医療的ケアが必要ない場合にも、将来的に医療的ケアが必要になると予測される児や家庭環境に問題があり、支援が必要な児等に対し、訪問診療・訪問看護導入のフローチャートを実施し、フローチャートにそって必要な支援を行ってください。

⑤ 退院時申し送りシート【様式4】

在宅移行が決まったら、申し送りシートの準備を行い、退院前カンファレンスで在宅関係者と共有してください。

⑥ 多職種あんしん連絡票【様式5】

退院前カンファレンスの時に使用してください。日頃の支援や急性増悪時に関係者間で連絡がとれるようにご活用ください。

⑦ 訪問診療ってなあに？【資料1】

訪問診療が必要と判断した場合に、児や家族への説明用にご使用ください。

⑧ 訪問看護ってなあに？【資料2】

訪問看護が必要と判断した場合に、児や家族への説明用にご使用ください。

(3) 医療的ケア児かかりつけ医登録制度について

在宅医療的ケアに取り組む診療所医師が少ない中、医療的ケアに取り組む医師の掘り起こしを行うため、岡山市医師会、岡山市内医師会連合会に協力いただき、対応可能な医療内容、処置、時間帯、患者の年齢等細かく調査（別紙1）を行い、診療所一覧を作成しました。このガイドブックの流れにそって在宅移行支援を行う中で、在宅かかりつけ医が見つからない場合は、岡山市医療政策推進課地域ケア総合推進センター（TEL：086-242-3135）へお問い合わせください。